

米空軍太平洋音楽隊 音楽の感動を広める *PACAF Band Spreads Joy of Music*

March 14, 2019

By Senior Airman Juan Torres
374th Airlift Wing Public Affairs

米空軍太平洋音楽隊アジアは、3月8－9日、京都府京丹後市に赴いて公演を行い、地元の人々との交流を図った。

防衛省主催による2日間のイベントは、世界の共通語として知られる音楽を通して、相互理解と二国間の関係を深めた。

音楽隊は地元の島津小学校の児童と教員を訪ねて演奏を披露したほか、今年で3回目となる日米交流音楽会で、米陸軍経ヶ岬通信所第14ミサイル防衛中隊、峰山中学校吹奏楽団、丹後吹奏楽団、プティエトワール・モダンバレエ教室のメンバーと共演した。

「生徒とその同伴者の反応がとてもよく感動的だった。彼らに曲を披露し、交流できたことは本当に有意義だった」と音楽隊のサクソ奏者アイアン・オーバーン上級空兵は感想を述べた。

太平洋地域のさまざまな場所で公演を続けながら、音楽隊は音楽を通して人々と交流し、絆を深めるための活動を行っている。

「地元へ赴いて友好を示し、文化や音楽を分かち合うことは大切だと思っている」とオーバーン上級空兵は述べる。

披露曲は、アメリカのさまざまな曲から日本のヒット曲までバラエティーに富む。音楽隊には、演奏を通じて観客に感動を与えたいという思いがあった。

演奏後、音楽隊のメンバーたちは観客たちと会い、写真撮影と一緒に撮るなどして交流を図った。

